



平成25年

施政方針

平成25年2月28日第1回定例会
において、平成25年度の町政運営
に関する基本的な考え方と予算の
概要について説明しました。



昨年8月の選挙におきまして、
無投票にて3期目の町長という大
役を任せて頂くこととなりました。
無投票という事で安泰というこ
とは全く考えておりません。これ
まで以上に危機感を持ち、嵐山町
の舵取りを行いたいと考えており
ます。町政の運営は、議員の皆様、
町民の皆様のご支援、ご協力が必
要でございます。これまで以上に
ご支援、ご協力をお願いするもの
であります。
さて、国においても、昨年12月



地域コミュニティ事業

し、平和で明るい社会を築くため、
人権施策を進めてまいります。

健康で互いに支えあう 生き活きたまち

予防接種事業につきましては、
「こども医療費窓口払い代替事
業」として、ロタウイルス、おた
ふくかぜ、水痘及び中学3年生へ
のインフルエンザの予防接種の助
成を行っています。ロタウイル
ス、おたふくかぜ、水痘の予防接
種への助成は、近隣地域に先立ち
まして行っており、非常に好評で
す。

平成25年度からは、高齢者の方
に助成しております肺炎球菌の予
防接種の対象年齢を75歳以上から
65歳以上へと拡充してまいります。
がん検診においては、子宮頸が
ん検診に併せ、30歳代の方のHP
V検査に対し助成してまいります。

に衆議院選挙が行われ、第2次安倍
政権が発足いたしました。安倍
政権は、経済再生を最重要課題と
し、大胆な金融政策、機動的な財
政政策、民間投資を喚起する成長
戦略の「3本の矢」を展開してい
くこととしています。

日本を取り巻く諸外国におい
ても、新たな動きが見られます。昨
年、アメリカ合衆国では、オバマ
大統領が再選され、ロシアでは
プーチン氏が再び大統領に選出さ
れました。中国と韓国において
も、新たな指導者が選出されたこ
ろであります。

現代社会は、グローバル化して
おり、諸外国の動きが直ぐに我々
の生活に直結してまいります。「時
代の転換期」といわれ久しい状況
でありますが、国の動向、世界の
動向を十分注視しつつ、職員共々
町民の皆様の福祉の向上のため町
政運営を行ってまいります。

以前から、町を取り巻く状況は
大変厳しいと説明させていただき
ました。

町の人口も18,426人と
なり、第5次総合振興計画で平成27
年に18,600人としていた人
口を下回っています。

平成25年度の予算においても、
数億円の財源不足が生じるなど、
これまで以上に厳しい編成となり
ました。

そのような状況下であります

これからも財政健全化と併せ、
町民の皆様が健やかな生活を送る
ことができるよう支援してまいり
ます。

「生き活きふれあいプラザやす
らぎ」のトレーニングルームは利
用者からも大変好評を頂いており
ます。さらに多くの方に利用して
頂くよう周知してまいります。

さらに、地域の健康づくりのた
めに尽力して頂いている保健推進
員を、48名から67名へと増員いた
します。地域が主体となって行う
健康づくりの体制強化を図り、町
民誰もが元気に生活できるような
生活習慣病予防対策を行ってまい
ります。

福祉施策につきましては、「嵐
山町地域福祉計画」に基づき、町
民・地域・団体・地元企業との協
働により、地域での支え合いや各
種活動が活発に行われる仕組みを
つくり、安心して暮らせる福祉の
まちづくりを行ってまいります。

平成25年4月には、新たな共生
社会を目指した障害者総合支援法
がスタートします。障害者施策に
おいては、第2期嵐山町障害者計
画・第3期嵐山町障害福祉計画を
点検・評価しながら、各種施策を
行なってまいります。

高齢者施策においては、これま
でも、高齢になっても住み慣れた
地域で安心して暮らすことができ
るよう、様々な介護予防事業等
を行ってまいりました。新たな介護

が、第5次嵐山町総合振興計画の
将来像である「豊かな自然 あふ
れる笑顔 心の通いあうまち ら
んざん」を実現すべく、平成25年
度の予算案を、次のとおり編成さ
せて頂きました。

一般会計の歳入では、町税と地
方交付税を平成24年度とほぼ同額
としたものの、大規模な補助事業
が終了したため、国及び県支出金
が約9千万円の減額となりました。
財源不足に対しては、財政調整
基金を平成25年度も2億2百万円
取り崩すことといたしました。財
政調整基金残高見込は、約1億
6千9百万円となり、非常に厳し
い財政運営が続いております。

町債は3億9千8百万円とし、
平成24年度と比較し約2億4千5
百万円の減額となっております。
ここ数年、プライマリーバランス
(基礎的財政収支)の維持が出来
ませんでした。しかし、平成25年
度においてはプライマリ・バラ
ンスを堅持することといたしました。
今後も財政健全化に向けて、尽力
して参ります。

平成24年度は、地域防災計画を
始め、町の基幹的な計画を次々と
策定させていただきました。現
在、策定中の計画もあります。こ
れらの計画のもと、嵐山町がさ
らに住みやすく、希望あるまちで
あり続けるため、各種施策を行っ
ていくものであります。

予防事業として、脳の健康教室事
業を行ってまいります。

介護保険につきましては、第5
期嵐山町高齢者福祉計画・介護保
険事業計画に基づき、介護保険特
別会計の健全な運営に努めてまい
ります。

国民健康保険特別会計において
は、医療費が大きく増加してしま
いました。平成25年度予算も大変
厳しい編成となっております。町民
の皆様が健康で生活して頂くた
め、今後も積極的に予防事業等
を行ってまいります。予防事業等
により医療費の抑制が図られ、健
全な財政運営へとつながるものと考
えています。



子育て広場 はとぼっぼ

水と緑に恵まれた うるおいのあるまち

水道事業会計においては、これ
までも値下げを行ってまいりまし
た。長引く不況により、町民の皆

それでは、平成25年度の主な事
業につきまして、第5次嵐山町総
合振興計画の各種施策に基づきま
して、説明させていただきます。

町民と行政の協働による 調和のとれたまち

ボランティアの更なる活性化の
ため、ボランティアセンターを立
ち上げさせていただき、ボラン
ティア講座、ボランティア・フェ
スタ等行っております。住みよい
まちづくりをするためには、ボラ
ンティア活動が活発であることが
欠かせないと考えております。今
後も、ボランティア活動を積極的
に支援してまいります。

各行政区の区長様には日頃か
ら、地域の安全・安心及び活性化
のため大変お骨折りを頂いており
ます。地域コミュニティ事業も定
着し、各地区の活性化につなが
ていると考えております。古い
言葉ですが、「向こう三軒両隣」
あってこそその住みよいまちである
と感じています。これからも地域
のつながりを積極的に支援してま
いります。

町の情報発信の場であるホーム
ページもリニューアルし、町民は
もとより町外の方が見やすいもの
といたしました。

現在、いじめや体罰が社会問題
となっております。嵐山町人権施
策基本方針に基づき、差別をなく

様の生活環境や企業の経営状況は
大変厳しい状況が続いていると思
われます。皆様の負担を少しでも
軽減するよう、水道事業会計の健
全化を見極めながら、水道料金を
引き下げることといたしました。
これにより、現行の水道料金と比
較し、平均約4.9%の値下げに
なることとなります。

水道水においても、さらなる安
全を維持していく必要があります。
耐塩素性病原生物(クリプトスポ
リジウム等)対策を行うため、第
2浄水場へ紫外線照射設備を導入
する準備を進めてまいります。

生活環境の改善を図るため、平
成24年度から本格実施しているP
FI方式による市町村設置型合併
浄化槽整備事業は、町民の皆様の
ご協力により、概ね予定通り進ん
でおります。

公共下水道事業におきまして
も、下水道管の耐震化や志賀2区
地域の下水道管渠の長寿命化等
を行ってまいります。

県も川の再生に積極的に取り組
んでおります。次世代に嵐山町の
美しい自然環境を残すため、今後
も積極的に河川の水質保全対策を
行なってまいります。

今後の環境施策の基本的な計画
となる環境基本計画並びにスト
ップ温暖化推進計画につきまして
は、関係者や町民の皆様と共に平
成24年度から策定しております。
より良い計画となるよう、引き続